

現在の生活科にはどのような課題があるか

* 平成20年1月の中央教育審議会答申で指摘された生活科の課題

- 1 指定校の調査などによると、学習活動が体験だけで終わっていることや、活動や体験を通して得られた気づきを質的に高める指導が十分に行われていないこと。
- 2 表現の出来映えのみを目指す学習活動が行われる傾向があり、表現によって活動や体験を振り返り考えるといった、思考と表現の一体化という低学年の特質を生かした指導が行われていないこと。
- 3 児童の知的好奇心を高め、科学的な見方・考え方の基礎を養うための指導の充実を図る必要があること。
- 4 児童の生活の安全・安心に対する懸念が広まる中、安全教育を充実することや、自然事象に接する機会が乏しくなっている状況を踏まえ、生命の尊さや自然事象について体験的に学習することを重視すること。
- 5 小1プロブレムなど、学校生活への適応を図ることが難しい児童の実態があることを受け、幼児教育と小学校教育との具体的な連携を図ること。